学校番号	209

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	国語表現	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	『国語表現 改訂版』　（大修館書店）						
副教材等	プリント教材、ワークシート等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業の目的は、「自分を表現できるようになること」です。国語表現の基本的な知識と技術を身につけ、「自分にしか書けない文章を書くこと」や、「自分にしか話せない話をすること」ができるようにしましょう。そのために、授業には受け身ではなく、主体的・能動的に取り組んでください。もちろん、忘れ物をしない、提出物をきちんと出す等の基本的な事項も厳守してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本語を正しく表記できる。誤解なく伝えられる。より豊かな内容を文章に込めることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
文章に含まれる内容を正しく理解できる。文章の内容に対して自分なりの考えを持てる。自分の考えを正しく文章にできる。
【学びに向かう力、人間性等】
自分の考えをより深め、関連する事柄へつながっていくことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め知識を身につけている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話しあったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 ・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。 ［教材］ レッスン1　自己紹介ゲーム	a：言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。 c：「表記クイズ」を解くことをとおして、正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	・小テスト		・観察
	・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。 ・5W1H を明確にし、事実と意見を区別して文章を書く。 ［教材］ レッスン3　絵や写真を見て書く レッスン4　マイニュース記事を書こう	a：自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現のしかたを工夫している。 c：絵や写真をわかりやすく正確に文章で説明することに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・小テスト		・観察
	・漢字や慣用表現、表記の決まりを意識し、正しく書く。 ［教材］ レッスン1　言葉と表記 レッスン2　整った文を書く	a：言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。 b[書]：「書くこと」において、伝えたいことを明確に伝えるために、係り受けや文末表現の統一に留意し、表現のしかたを工夫している。 c：設問に取り組むことをとおして、係り受けを整えたり文末表現を統一したりする学習に積極的に取り組もうとしている。	・小テスト ・定期考査	・ワークシート ・定期考査	・観察
	・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ［教材］ レッスン4　わかりやすい文を書く	b[書]：「書くこと」において、長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、表現のしかたを工夫している。 c：わかりやすい文を書くことに意欲をもち、積極的に学習に取り組んでいる。		・ワークシート	・観察
	・言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。 ・原稿用紙の使い方を理解する。 ［教材］ 実践トレーニング①	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 b[書]：読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。 c：まとめとしての設問に積極的に取り組もうとしている。	・小テスト ・定期考査	・ワークシート ・定期考査	・観察
二学期	・小論文の基本的な書き方を理解する ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。 ［教材］ レッスン1　小論文とは何か	a:小論文とは何かを理解し、適切な構成や展開のしかたなどの基本的な書き方を身につけている。 b[話/聞]：目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。	・小テスト ・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査	・観察

		c：小論文と作文の違いをふまえ、小論文らしい文章を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。			
二学期	・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。 ［教材］ レッスン2　反論を想定して書く	b[書]：目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 c：反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。		・ワークシート	・観察
	・統計資料から読み取ったことをふまえて論点を整理する。 ・統計資料から読み取ったことをふまえて小論文を書く。 ［教材］ レッスン4　統計資料を読み取って	b[書]：読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 c：統計資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。		・ワークシート	・観察
	・発想を広げるための方法を理解する。 ・テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。 ［教材］ レッスン5　発想を広げて書く	b[書]：目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 c：与えられたテーマから発想を広げて小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。		・ワークシート	・観察
	・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめる。 ［教材］ レッスン6　レポートを書く	b[書]：目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 c：調べたことをレポートにまとめることに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。		・ワークシート	・観察
	・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。 ［教材］ レッスン7論文を書くために	b[書]：目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 c：論文を書くことや、論文を書くときの留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。		・ワークシート	・観察
三学期	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。 ［教材］ レッスン1　自分を見つめて	a：言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 b[話/聞]：目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・小テスト ・定期考査	・ワークシート ・定期考査	・観察
	・自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己 PR の原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己 PR をする。 ［教材］ レッスン2　効果的な自己 PR	b[話/聞]：目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：効果的な自己 PR をすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。		・ワークシート	・観察
	・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。	b[話/聞]：目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを		・ワークシート	・観察

	・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。 ［教材］ レッスン3　将来の自分を考えよう	工夫して、伝えたいことを明確にしている。 c：自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりする活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。			
	・志望先についての情報を適切な方法で集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PR の三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。 ［教材］ レッスン4　志望理由を書こう	b[話/聞]：目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 c：説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。		・ワークシート	・観察
	・志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。 ・具体的で要素の関連性を重視した書類を書く。 ・適切な言葉遣いで書類を書く。 ［教材］ レッスン5　自己推薦書や学修計画書を書く	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 b[話/聞]：目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 c：進路先に提出する文書を書くときの留意点や、より説得力のある書類をことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・小テスト ・定期考査	・ワークシート ・定期考査	・観察
	・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的で説得力のある答え方で答える。 ［教材］ レッスン6　面接にチャレンジ	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 b[話/聞]：目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・小テスト ・定期考査	・ワークシート ・定期考査	・観察

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２５　）時間

・書くこと　…　（　４５　）時間

・読むこと　…　（　０　）時間